

## 第76回関西茶業振興大会愛知県大会が開催されました

園芸農産課

関西茶業振興大会は、関西茶業の振興を図るため東海・関西6府県（愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、奈良県）で順番に開催している伝統あるお茶の大会です。

76回目を迎える大会を今年度、愛知県で開催しました。

## 1 関西茶品評会

茶の栽培技術を向上させるため、関西6府県の茶産地の新茶を一堂に集めて出来映えを競う品評会が2024年7月31日（水）から8月2日（金）にかけて行われました。各産地から、てん茶（抹茶の原料）を始めとした5茶種371点の出品がありました。今年は、2月までの暖冬で、一番茶が記録的に早くなると予想した産地も多かった中、3月には低温により茶芽の生育の遅れや生育差が目立ち始め、4、5月は日照不足や降雨により摘み遅れる等、天候に翻弄された年となりました。こうした中、出品された茶はそれぞれの茶種の特徴を備えた、見事な逸品が多く出品されました。

農研機構の佐藤茶業研究領域長を審査長に迎え、関西6府県から推薦された審査員による厳正な審査の結果、1等20点、2等36点、3等50点の入賞が決まりました。

## 2 関西茶業振興大会愛知県大会式典

関西茶品評会において優秀な成績を収めた出品者を表彰するため、11月16日（土）に西三河農業協同組合事務センターにおいて、大会式典を開催しました。

式典では、大会長である大村知事から受賞者を代表して、てん茶の部で最優秀であった、有限会社不老園 小林晋弥氏へ大会会長賞が授与されるとともに審査成績で最優秀の市町村に対して産地賞が授与されました。

また、1等入賞者には、農林水産大臣賞を始めとした特別賞が授与されました。

今年は、天候不順等により茶生産に係る総合的な知識や技能が例年以上に求められる中、数多くの優秀なお茶を出品いただきました生産者や関係者の皆様方の熱意と努力に心から敬意を表す次第です。



外観審査



滋味審査



大会会長賞の授与